

## 2022年度決算概要

株式会社東邦銀行

### 1. 経営成績（損益の状況）【連結】

- (1) 経常収益は、貸出金利息、役務取引等収益の減少を主因として、前年度比15億24百万円減少し587億3百万円となりました。
- (2) 経常費用は、投資信託解約損の増加などにより、前年度比19億93百万円増加し520億3百万円となりました。
- (3) 経常利益は、前年度比35億18百万円減少の66億99百万円となりました。
- (4) 親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の減少に伴い前年度比22億59百万円減少し44億93百万円となりました。

#### 【連結】

(単位：百万円)

	2022年3月期 (A)	2023年3月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	60,227	58,703	△1,524
経常利益	10,217	6,699	△3,518
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,753	4,493	△2,259

#### 【銀行単体】

(単位：百万円)

	2022年3月期 (A)	2023年3月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	51,598	50,293	△1,304
経常利益	8,950	6,104	△2,845
当期純利益	6,181	4,573	△1,608

### 2. 主要勘定の業績【銀行単体】（末残ベース）

- (1) 総預金（譲渡性預金含む）  
個人預金・法人預金が引続き順調に推移しましたが、公金預金等の減少により前年度末比192億円減少し6兆2,042億円となりました。
- (2) 貸出金（含む私募債）  
お客さまのニーズに幅広く積極的にお応えした結果、前年度末比2,313億円増加し、3兆9,750億円となりました。
- (3) 有価証券  
海外金利上昇などマーケットの急激な変動への対応として回復の見込めない投資信託を解約するとともに政策保有株式の持合い解消を進める一方で、安定的な利息配当確保のため、国債・地方債・社債を増加させ、期末残高は前年度末比408億円増加し5,648億円となりました。

#### 【主要勘定の業績】

(単位：億円)

	2022/3末	2022/9末	2023/3末	2022/3末増減(率)	2022/9末増減(率)
総預金 (譲渡性預金含む)	62,235	61,017	62,042	△192 (△0.3)	+1,024 (+1.7)
うち個人預金	35,995	36,578	36,728	+733	+150
うち法人預金	14,142	14,436	14,463	+320	+26
うち公金預金等	12,098	10,002	10,850	△1,247	+847
貸出金 (含む私募債)	37,436	38,642	39,750	+2,313 (+6.2)	+1,108 (+2.9)
私募債	674	623	578	△95	△45
個人向けローン	8,341	8,383	8,419	+78	+35
うち住宅ローン	7,807	7,864	7,899	+92	+35
有価証券	5,239	5,423	5,648	+408 (+7.8)	+224 (+4.1)

### 3. 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率は単体で8.86%、連結で9.36%と引続き十分な水準を維持しております。

#### 【銀行単体】

（単位：億円）

	2022/3末	2022/9末	2023/3末	2022/3末増減(率)	2022/9末増減(率)
自己資本比率	9.13%	9.17%	8.86%	△0.26%	△0.30%
自己資本	1,784	1,789	1,787	+3	△2
リスクアセット等	19,525	19,513	20,152	+626	+638

#### 【連結】

（単位：億円）

	2022/3末	2022/9末	2023/3末	2022/3末増減(率)	2022/9末増減(率)
自己資本比率	9.66%	9.68%	9.36%	△0.29%	△0.31%
自己資本	1,892	1,894	1,892	+0	△2
リスクアセット等	19,586	19,570	20,210	+624	+640

### 4. 金融再生法開示債権（正常債権除く）【銀行単体】

総与信に対する比率は1.24%と引続き極めて低い水準になっております。

#### 【金融再生法開示債権（正常債権除く）】

（単位：億円）

	2022/3末	2022/9末	2023/3末	2022/3末増減(率)	2022/9末増減(率)
金融再生法開示債権	490	512	494	+3	△17
破産更生債権等	175	204	184	+9	△19
危険債権	246	246	252	+6	+6
要管理債権	68	61	57	△11	△4
総与信比	1.30%	1.32%	1.24%	△0.06%	△0.07%

### 5. 2023年度通期業績予想

2023年度の連結ベースでの業績見通しにつきましては経常収益594億円、経常利益は80億円、親会社に帰属する当期純利益53億円を見込んでおります。

銀行単体の業績見通しにつきましては経常収益510億円、経常利益79億円、当期純利益57億円を見込んでおります。

#### 【業績予想（連結）】

（単位：億円）

	2022年度 実績 (A)	2023年度 業績予想 (B)	増減 (B - A)
経常収益	587	594	+7
経常利益	66	80	+13
親会社株主に帰属 する当期純利益	44	53	+8

#### 【業績予想（銀行単体）】

（単位：億円）

	2022年度 実績 (A)	2023年度 業績予想 (B)	増減 (B - A)
経常収益	502	510	+7
経常利益	61	79	+18
当期純利益	45	57	+11

以上